

臨床研究「扁桃周囲膿瘍に関する臨床的検討」について

扁桃周囲膿瘍は扁桃炎の合併症のひとつです。扁桃炎の場合、抗菌薬の投与により改善が得られる場合が多いですが、扁桃周囲膿瘍の場合には上気道閉塞、頸部膿瘍、縦隔炎などの致死的合併症を生じることがあり、迅速・的確な治療を行う必要があります。治療としては抗菌薬の投与以外に、穿刺もしくは切開による排膿処置、補液や疼痛緩和、ステロイドの投与が必要です。扁桃周囲膿瘍に関して、早期の症状緩和・治療期間の短縮を図るために、過去に治療を行った扁桃周囲膿瘍の特徴、治療法について解析を行い検討することが、医学の進歩に有用であると考えられます。

そのため、2007年から2013年まで当院で扁桃周囲膿瘍にて治療を受けられて頂いた患者様を対象に、診療情報を診療録(カルテ)に基づき調査させていただきます。

この調査では、診療情報を個人が特定できないように、匿名化して、集計・解析することとし、患者様の個人情報には現住に保護するとともに、取り扱いには十分留意しています。またこの調査にて得られた情報は研究目的以外には使用いたしません。

対象に該当される患者様でこの調査にご自身の診療情報の使用を希望されない方や疑問のある方は耳鼻咽喉科 橘 智靖(タチバナトモヤス)までご連絡ください。ご連絡が無い場合には、貴重な診療情報を本研究に活用させていただきます。

治療・経験した症例を解析する事によって得られた知識が医学・医療の進歩に役立つよう、ご理解とご協力いただけますようお願い申し上げます。

《 研究対象 》

扁桃周囲膿瘍にて姫路赤十字病院および関連病院にて、
外来・入院治療を受けられた患者様

《 研究期間 》

臨床研究審査会承認後から2015年10月末まで

《 研究代表者・連絡先 》

姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科 橘 智靖

〒670-8540 兵庫県姫路市下手野1-12-1

電話 079-294-2251